

ヤオコー - 2023年3月期決算 ～増収増益、24年3月期も増収増益計画～

【連結業績】

(百万円、%)

	2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期 (通期計画)	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
営業収益	536,025	105.5	564,487	105.3	574,000	101.7
営業利益	24,081	107.2	26,235	108.9	26,300	100.2
経常利益	23,290	104.9	25,597	109.9	25,600	100.0
当期純利益	15,382	105.4	15,849	103.0	16,000	101.0

【単体業績】

(百万円、%)

	2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期 (計画)	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
営業収益	467,838	105.8	487,891	104.3	495,000	101.5
営業利益	21,753	110.3	22,837	105.0	23,000	100.7
経常利益	21,451	108.4	22,415	104.5	22,500	100.4
当期純利益	13,937	104.7	14,291	102.5	14,400	100.8

【ヤオコー既存店売上高、客数、客単価、買上点数・一品単価 対前期比】 (%)

	2022年3月期		2023年3月期	
	対前期比	対前期比	対前期比	対前期比
売上高	100.7		101.7	
客数	101.2		99.7	
客単価	99.5		101.9	
買上点数・一品単価	99.0	100.4	98.1	103.8

■決算概要

ヤオコーの2023年3月期の連結決算は増収増益。営業収益5644億8700万円（前期比5.3%増）、営業利益262億3500万円（8.9%増）、経常利益255億9700万円（9.9%増）、当期純利益158億4900万円（3.0%増）。

単体では、営業収益4878億9100万円（4.3%増）、営業利益228億3700万円（5.0%増）、経常利益224億1500万円（4.5%増）、当期純利益142億9100万円（2.5%増）となり、34期連続の増収増益を達成した。

■営業利益

営業利益の増減要因は、売上が伸長したことにより売上総利益が拡大。経費面では人件費と水道光熱費が負担増となった。一方、エイヴイの子会社化によるのれんの償却が終了したため、約10億円分

の増収要因となり、増収の大きな要因となっている。

■既存店売上等

既存店売上高は101.7%、客数99.7%、客単価101.9%、買上点数98.1%、一品単価103.8%となり、客数はほぼ横ばいの中、客単価が増。客単価は物価上昇により一品単価が増加し、買上点数は減少となった。

月別の既存店売上高昨年比では、2022年9月までは前年売上げを超えたのは4月と7月のみと厳しかったものの、下期に入り急激に回復し、10、11、12・・・続きは正規版いお申し込みください。



株式会社ヤオコー
代表取締役社長
川野 澄人氏